

ソロモン王 れつおうじょう しょう せつ 《列王上 3章 16～28節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 神様が「何を与えようか」と言った時、ソロモンは何を求めましたか？

○をつけてね。

★ お金

★ 知恵

★ 長生きすること

- ② ソロモンの賢い知恵はだれからもらったものですか？ 文字をうめてね。

○ ○ さま

- ③ どうしてイスラエルの人々はソロモンを恐れたのでしょうか？
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

れつおうじょう しょう せつ
列王上 3章 28節



- ④ 神様から知恵をいただいたソロモンの裁判はどんなものでしたか？ ○をつけてね。

▲ まちがった裁判

▲ 正しい裁判

▲ えこひいきな裁判

▲ えこひいきのない裁判

2. かんがえてみよう！

- ① あなたがほしいものは何ですか？



- ② ソロモンのように、神様の知恵をほしいですか？

【 ほしい / いらぬ 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。ソロモン王のように、私にも神様の知恵を与えてください。私には知恵がありませんから、知恵であるイエス様と一緒に、神様の喜ばれる賢い道を歩めますように。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

アサ王 れきだいげ 14 しょう 9~15 せつ

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① どちらの軍隊が多くて、強そうでしょうか？ ○をつけてね。

★ アサ王の軍隊 ⇒ 58万人

★ エチオピアの軍隊 ⇒ 100万の軍と300の戦車

② アサ王は神様に何とお祈りしましたか？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

れきだいげ 14 しょう 11 せつ
歴代下 14 章 11 節



③ お祈りの後、アサ王はどうしましたか？ ○をつけてね。

◆ 神様に任せて逃げた。

◆ 神様の助けと力を信じた。

◆ 神様から勇気をいただいて、進んで行った。

2. かんがえよう！

① だれよりも強くて、あなたを助けてくださるお方はだれでしょう？ 文字をうめてね。

ほんとうの ○ ○ さま

② 「助けてほしい！」と思うときは、どんな時ですか？

【 】

③ その時、あなたが一番にすること、これからしようと思っていることは何ですか？

【 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。アサ王は自分の弱さを認めて、神様により頼んだので勝利することができました。私も、いつでも神様にお頼りしていきます。神様、私を助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

ヨシャパテ王 れきだいげ 20 しょう 13~30 せつ

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① アサ王の子で、南ユダ王国の次の王様になったのはだれですか？ 文字をうめてね。



- ② 大軍に攻められ、みんなで祈っていた時に与えられたみ言葉は何でしたか？
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

れきだいげ 20 しょう 15 せつ
歴代下 20 章 15 節



- ③ その後、ヨシャパテ王たちはどうしましたか？ ○をつけてね。

- ▲ ヨシャパテ王だけが礼拝した。
- ▲ みんなで礼拝をし、賛美をした。
- ▲ 勝った時、神様に感謝した。
- ▲ 勝っても、神様に感謝しなかった。

2. かんがえよう！

- ① いじわるされたり、けんかしそうになった時、あなたならどうしますか？

【 】

- ② 私たちの勝利の秘訣は何でしょう？ ○をつけてね。

あいている言葉を□からえらんで、かんせいさせましょう！

- ★ 神様に【 】すること。
- ★ 【 】を信じて、従うこと。
- ★ 神様を【 】すること。

さんび
賛美
いの
お祈り
ことば
み言葉

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。苦しい時、つらい時、自分でがんばるのではなく、ヨシャパテ王たちのように、神様を信じておまかせして、乗りこえることができるように助けてください。神様の勝利を信じます。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

ヒゼキヤ王 おう 《列王下 19章 1～19節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① ヒゼキヤ王は預言者イザヤに何を頼みましたか？ ○をつけてね。

- ◆ 「敵をやっつけてほしい」
- ◆ 「たくさんの武器をください」
- ◆ 「神様に助けを祈ってください」

- ② もう一度、敵の使者たちが送られてきた時、ヒゼキヤ王はどうしましたか？
あいている言葉をうめましょう。

神様に【 】をして、【 】を信じつづけた。

- ③ それはヒゼキヤ王のお祈りの中からもわかります。
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみましょう！

れつおうげ 19章 15節



2. かんがえよう！

- ① イエス様を信じていること、教会に来ていることを馬鹿にされたことはあるかな？
【 はい / いいえ 】

- ② そんな時、あなたならどうしますか？

【 】

- ③ どんなことでも乗り越えることができる、私たちの最強の武器は何でしょう？
○をつけてね。

★ けんか ★ 悪口 ★ お祈り

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。ヒゼキヤ王もイサヤも、お祈りによって勝利したように、私もありのままを神様にお祈りして、いろんなことを乗り越えることができるように助けてください。お祈りをきいてくださる神様、ありがとうございます。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

ヨシヤ王 れつおうげ 《列王下 22章 1～20節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① ヨシヤ王 おう はどんな人 ひと でしたか？ きょうのみ言葉 ことば をおぼえながら書いてみよう！

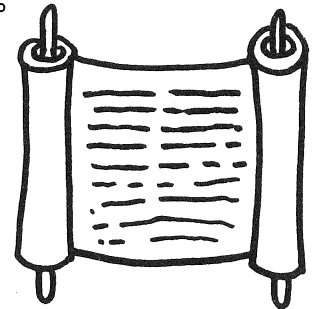
れつおうげ 列王下 22章 2節

- ② 大祭司 だいさいし ヒルキヤ なに はっけん は何を発見 はっけん しましたか？ 文字 もじ をうめてね。

○ ○ ○ ○ の書 しょ

- ③ 律法 りっぽう の書 しょ を読んで、ヨシヤ王 おう はどうしましたか？ ○をつけてね。

- ★ 律法 りっぽう の書 しょ を自分 じぶん だけのものにした。
- ★ 人々 ひとびと にもみ言葉 ことば を読み聞 よき かせた。
- ★ ヨシヤ王 おう も、人々 ひとびと も、み言葉 ことば を聞いて守 まも った。
- ★ 罪 つみ が分 わ かって、知らん顔 し かお をした。



2. かんがえよう！

- ① ヨシヤ王 おう はどんなことを選 えら びましたか？ どちらかに○をつけてね。
 神様 かみさま に【 喜 よろこ ばれる / 喜 よろこ ばれない 】こと

- ② あなたがそれを選 えら ぶには、どうしたらよいのでしょうか？

あいている言葉 ことば を□からえらんで、かんせいさせましょう！

【 】を救 すく い主 しゅ と信 しん じて、
 【 】をきいて、守 まも り、
 神様 かみさま に【 】すること。

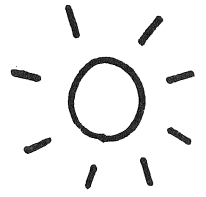
お祈 いの り
 みことば
 イエス様 さま

《 お祈 いの りしよう！ 》

天 てん のおとうさま。ヨシヤ王 おう のように、私 わたし もみ言葉 ことば を聞 き いたとき、素直 すなお に罪 つみ を「ごめんなさい」と告白 こくはく できるようにしてください。そして、み言葉 ことば をきいて、神様 かみさま に喜 よろこ ばれることを選 えら ぶことができるように助 たす けてください。イエス様 さま のおなまえによって、お祈 いの りします。アーメン。

エリヤ (勇敢な預言者)

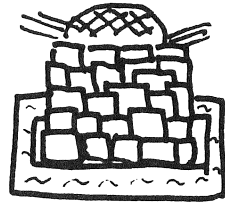
《列王上 18章 30～40節》



1. つぎのしつもんにこたえよう。

① エリヤはどんな人でしたか？ ○をつけてね。

- ◆ 神様からみ言葉を聞き、人々に伝える預言者
- ◆ アハブ王様に言われて預言者になった
- ◆ 本当の神様に召されて預言者になった



② エリヤは本当の神様を見分ける方法として、どんな考えをだしましたか？
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

列王上 18章 24節

③ バアルの預言者たちが祈っても、何も起きませんでした。しかし、エリヤの時は違いました。いったい何が起こったのでしょうか？ □からえらんで書いてね。

エリヤが【 】の神様に祈ると、
すぐに【 】から火がふってきて、
いけにえも、石も、水も、
【 】燃えつくしました。



④ この対決を見ていた人々は、その後どうしましたか？ ○をつけてね。

- ▲ 両方の神様を信じつづけた
- ▲ 本当の神様を信じた

2. かんがえよう！

① あなたが信じているものはなんですか？

- ★ 占い
- ★ おみくじ
- ★ お金
- ★ 仏さま
- ★ 本当の神様
- ★ イエス様

② あなたのまわりにも、偶像を信じている友だちや家族がいるよね。あなたはその人たちのために何ができるかな？ 考えてみよう！（例えば、お祈り…）

【 】

《お祈りしよう！》

天のおとうさま。偶像を信じてごめんなさい。これからは本当の神様だけを信じつづけることができるように、また、エリヤのように、人をこわがらないで、イエス様のことを伝えることができるように助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

エリシャ(いっぱいになった^{あぶら}油)

《列王下^{れつおうげ} 4章^{しやう} 1～7節^{せつ}》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 預言者^{よげんしゃ}の仲間^{なかま}の妻^{つま}が助け^{たす}を求めて来た^{もと}とき、

エリシャはどうしましたか？ ○をつけてね。

- ◆ 追い^お帰^{かえ}した
- ◆ 話^{はなし}を聞いてあげ^きた
- ◆ お金^{かね}や食べ物^たをあげ^{もの}た

- ② エリシャが油^{あぶら}の器^{うつわ}を集める^{あつ}ように言った^い時^{とき}、女^{おんな}の人^{ひと}はどうしましたか？

□からえらんで書^かいてね。

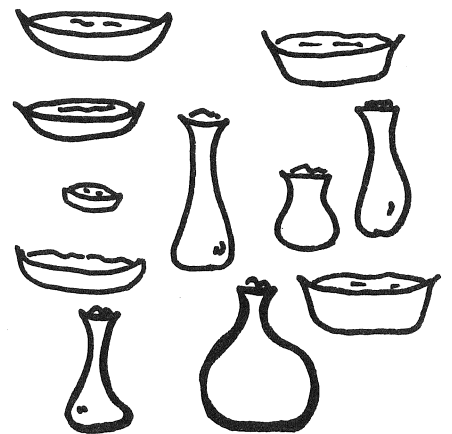
女^{おんな}の人^{ひと}は【 】家^{いえ}に帰^{かえ}り、
 【 】の言^いうとおりにしました。
 【 】が集^{あつ}めてくる器^{うつわ}に
 次^{つぎ}から次^{つぎ}へと【 】を入^いれました。

あぶら
油
すぐに
エリシャ
こどもたち

- ③ 器^{うつわ}が足り^たなくなると、女^{おんな}の人^{ひと}は子^こどもたちになんと言^いいましたか？

きょうのみ言^{ことば}葉^はをおぼえながら書^かいてみよう！

列王下^{れつおうげ} 4章^{しやう} 6節^{せつ}



2. かんがえよう！

- ① 油^{あぶら}をいっぱいにしてくれたのはだれでしょう？

★ エリシャ ★ 子^こどもたち ★ 本^{ほん}当^{とう}の神^{かみ}様^{さま}

- ② 本^{ほん}当^{とう}の神^{かみ}様^{さま}はどんなお方^{かた}でしょう？

★ 今^{いま}も生^いきておられます ★ いらないもの^{あた}を与^{あた}えてくれます
 ★ 助^{たす}けてくれません ★ 求^{もと}めるもの^{あた}に与^{あた}えてくれます

《 お祈^{いの}りしよう！ 》

天^{てん}のおとうさま。いつも私^{わたし}の祈^{いの}りをきいていてくれること、必要^{ひつよう}なもの^{あた}を与^{あた}え、いつでも助^{たす}けてくださることをありがとうございます。私^{わたし}も困^{こま}っている人^{ひと}の言^{はなし}を聞^きいてあげたり、すばらしい神^{かみ}様^{さま}のことを教^{おし}えてあげたりできますように。イエス様^{さま}のおなまえによって、お祈^{いの}りします。アーメン。

エゼキエル(いのちの息)

《エゼキエル 37章 1～14節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① エゼキエルが神様の霊につれて行かれたところは、どんなところでしたか？
あいているところをうめてね。

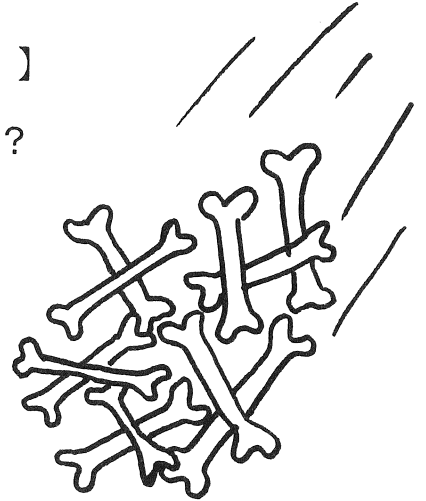
かれた【 】がたくさんある【 】

- ② エゼキエルは、神様に言われたとおりに預言をしましたか？
【 はい / いいえ 】

- ③ 組み合わされた体には、一番大切なものがありません。
それはなんでしたか？ ○をつけてね。

【 骨 / 肉 / 息 】

- ④ その時、神様はエゼキエルになんと言われたでしょう？
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！



エゼキエル 37章 9節

2. かんがえよう！

- ① 「枯れた骨」とはどんな人のことを言っているのでしょうか？ ○をつけてね。

▲ 偶像礼拝する人 ▲ み言葉をきいて行 う人
▲ 本当の神様を信じない人 ▲ み言葉をきかない人

- ② あなたも「枯れた骨」のようでした。しかし、何を信じることによって、新しく生まれ変わることができますか？ あいているところをうめてね。

【 】さまが【 】の罪の身代わりに
【 】で死んでくださったことを信じること。

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。本当の神様を信じないことは「枯れた骨」のようだと知りました。イエス様が私の罪の身代わりに十字架で死んでくださったことを信じます。これからは神様を悲しませないような生き方することができるよう助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈ります。アーメン。

よろこ 喜びの収穫(天国の刈り入れ)

《詩篇 126篇1～6節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 神様の種まきとは、何のことでしょう？ あいている文字をうめてね。

○ こ ○ ばの種まき

- ② イエス様も涙を流しながらその種をまきました。それはどうしてでしょう？

- ▲ 神様を信じない人がいたから
- ▲ 十字架にかかるのがイヤだったから
- ▲ 罪の赦しと永遠のいのちを与えたいから
- ▲ 神様の救いを待っている人がたくさんいたから

- ③ 涙を流しながら種をまく人は、その後どうなるでしょう？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

詩篇 126篇5節



2. かんがえよう！

今でも、たくさんの人が神様の救いをまっています。その人たちのために、
あなたもみ言葉の種をまくことができますよ。それはどんなことでしょうか？

- ★ 家族や友だちを教会にさそう
- ★ み言葉カードやトラクトをプレゼントする
- ★ イエス様を信じることができるように祈る
- ★ その他

【 】

《 お祈りしよう！ 》

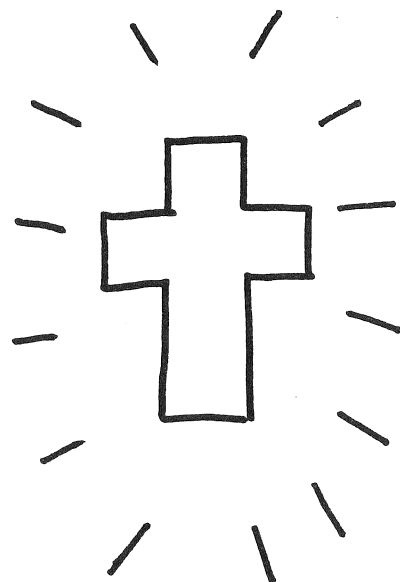
天のおとうさま。私にもみ言葉の種をまいてくださってありがとうございます。私もイエス様を信じていない人にみ言葉の種をまくことができるように助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

いのちの光 ひかり 《ヨハネ 1章 1～12節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

ヨハネ 1章 9節



- ② まことの光とは、だれのことでしょう？ ○をつけてね。

ヨハネ / イエス様

- ③ まことの光についてあかししたのはだれでしょう？ ○をつけてね。

ヨハネ / イエス様

2. かんがえよう！

- ① まことの光によって、どんなことがわかりますか？ ○をつけてね。

★ 良いこと	★ 神様の悲しむこと	★ 自分の罪
★ 悪いこと	★ 神様の喜ぶこと	★ 罪から救われる道

- ② あなたはまことの光の中を歩んでいますか？

【 はい / いいえ 】

- ③ 「はい」と答えた人は、どうしてそう思うのかな？

【

】

- ④ 「いいえ」と答えた人は、どうしてそう思うのかな？

【

】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。イエス様が私のまことの光であること、イエス様の十字架によって、私にも罪の救いが与えられること、天国への希望が与えられたことをありがとうございます。
イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

かいば 飼葉おけのイエス様 《ルカ 2 章 1～7 節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 住民登録じゅうみんとろくするために、ヨセフとマリヤはどこからどこへ行きましたか？

ガリラヤの【 】から、
ユダヤの【 】へ行った。

- ② ふたりはどこにとまりましたか？

- ◆ ホテル
- ◆ 客間きやくま
- ◆ 家畜小屋かちくこや



- ③ マリヤはそこで何をなにをしましたか？ きょうのみ言葉ことばをおぼえながら書いてみよう！

ルカ 2 章 6～7 節

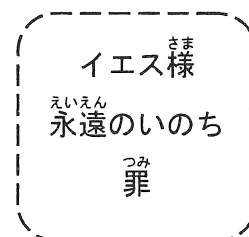
- ④ 生まれた赤ちゃんあかはだれでしょう？ あっている文字もじをうめてね。

かみさま 神様のひとり子 ○ ○ ○ さま

2. かんがえよう！

かみさま 神様は、どうして私わたしたちにひとり子イエス様さまをプレゼントしてくださったのでしょ
う？ あいている言葉ことばを□からえらんで、かんせいさせましょう！

- 【 】を信じる人が
【 】から救われて
【 】を持つためです。



《 お祈りしよう！ 》

てん 天のおとうさま。ひとり子イエス様さまをプレゼントしてくださったこと、私わたしもイエス様さまを信じ
るだけで罪つみが救ゆるされて、えいえん 永遠のいのちがいただけることをありがとうございます。イエス様さまの
おなまえによって、お祈りします。アーメン。

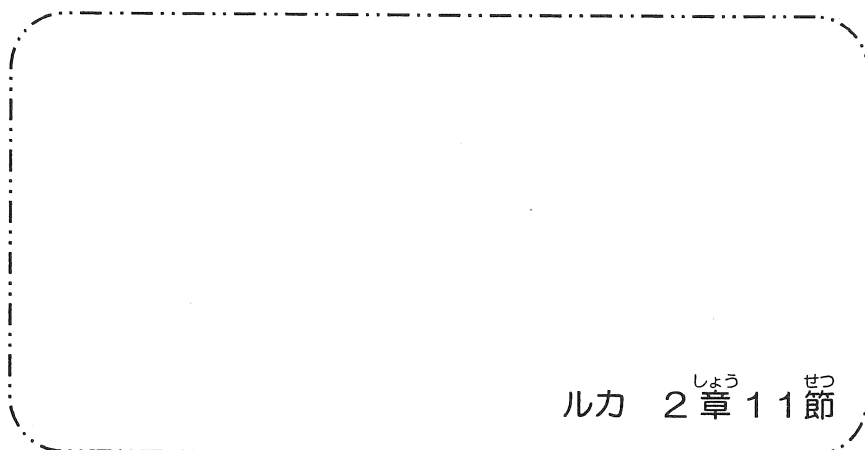
ひつじか よろこ 羊飼いの喜び 《ルカ 2章8～20節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① み^{つか}使^{つか}いたちははじめに、だれのところに^{あらわ}現^{あらわ}れましたか？ ^{もじ}文字^{もじ}をうめてね。

○ っ ○ か ○

- ② み^{つか}使いはその人^{ひと}たちに何^{なに}を伝^{つた}えましたか？
きょうのみ^{ことば}言葉をおぼえながら書^かいてみよう！



ル力 2^{しょう}章 1^{せつ}1節



- ③ その知らせを聞いた羊飼^きいたちは、それからどうしましたか？

【 】の中のあっているほうに○をつけて、文を完成させましょう！

ひつじか
羊飼いたちは【 **すぐに** / **あとで** 】^{はし}走^いって行^いって

【^{かいば}飼葉おけ / ^{ベッド}ベッド】に^ね寝かされている^{あか}赤ちゃんを^み見つけ出し^だだし

【イエス様／おうさま王様】を礼拝しました。

これはみ^{つか}使いの^い言ったとおり【でした / ではありませんでした】。

ひつじか
羊飼いたちはこのことを人々に【 伝えて ／ 伝えないで 】

【^{かみさま}神様／^{おうさま}王様】を^{さんび}賛美しながら^{かえ}帰って^い行きました。

2. かんがえよう！

- ① イエス様は、^{さま}貧しい^{まず}羊飼^{ひつじか}たちの^{すく}救い^{ぬし}主ですか？

【 はい / いいえ 】

- ② イエス様は、あなたの救い主ですか？

【 はい / いいえ 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。私も羊飼いたちのように、聞いたみ言葉を素直に信じ、喜んでイエス様を心にお迎えする、心のへりくだった人になってください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

はかせ よろこ 博士たちの喜び 《マタイ 2章1～12節》

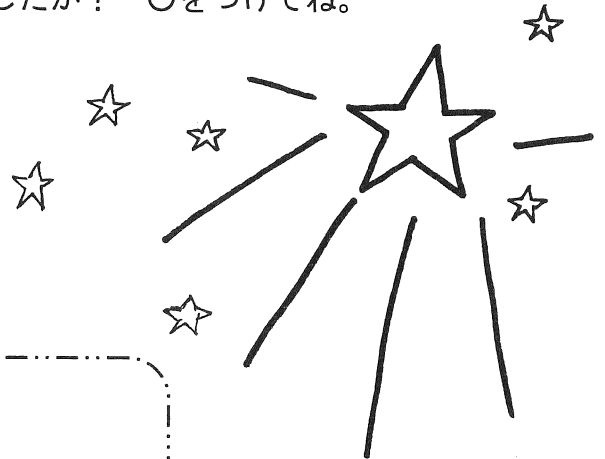
1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 星に導かれて、キリストを探しに来た人たちはだれですか？ 文字をうめてね。

とお くに
遠い国の ○ ○ ○ たち

- ② ヘロデ王は救い主の誕生を知った時、どうしましたか？ ○をつけてね。

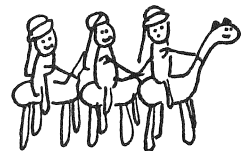
- ▲ よろこんだ
- ▲ 殺そうと考えた
- ▲ 礼拝しようとした



- ③ 博士たちはどう思いましたか？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

マタイ 2章10節



2. かんがえよう！

- ① 博士たちはどんな心で、イエス様にささげものをしたのでしょうか？ ○をつけてね。

- ★ 仕方ないなあ…
- ★ もったいない！
- ★ うれしいよ！
- ★ ありがとう！

- ② イエス様は、異邦人である博士たちの救い主ですか？

【 はい / いいえ 】

- ③ イエス様は、異邦人であるあなたの救い主ですか？

【 はい / いいえ 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。異邦人の博士たちや私のためにも、救い主イエス様が生まれてくださったことをありがとうございます。私も博士たちのように、真心からの礼拝をささげることができるようにお助けください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

かみさま かんしゃ
神様に感謝 《ルカ 2章 21～38節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① シメオンは神様にどんなことを感謝しましたか？ ○をつけてね。

- ★ 絶対に死なないこと
- ★ 神様の約束を見ることができたこと
- ★ 救い主イエス様に会えたこと

② 感謝したシメオンは、神様をほめたたえました。

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！



ルカ 2章 32節

③ ちょうどそこにいた女預言者アンナは、何をしたでしょう？

□からえらんで書いてね。

アンナは神様に【 】をささげ、
 【 】のことを
 エルサレムの【 】を待っている
 【 】に話しました。

すく
救い
かんしゃ
感謝
イエス様
すべての人々

2. かんがえよう！

今年1年間、どんなことがあったかな？

心に残っているみ言葉はなんだろう？

思い出して、書いてみよう！

そして、神様に感謝をささげましょう。



《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。今年もたくさんの恵みをありがとうございました。シメオンとアンナが神様の約束を信じて体験できたように、私もみ言葉を信じて歩み続けることができるようにしてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

ワークB解説 10~12月

10/1

●質問1 神様はソロモンに「何を与えようか」と質問してくださいました。それに対し、ソロモンは富や名声などではなく、神様の知恵を求めました。神様から知恵をいただいたソロモンは、正しく公平な裁きを行うことができました。

●質問2 私たちは日々、何を求めて生きているでしょう。神様をまず第1に求めるとき、全てのものが与えられるとのみ言葉もあります(マタイ6章33節)。私たちも神様から知恵をいただいて歩むなら、私利私欲ではなく、正しく公平な人生、神様に喜ばれる人生を送ることができます。日々、神様から知恵をいただいて、知恵なるイエス様と共に歩みましょう。

10/8

●質問1 アサ王の軍隊は58万人。エチオピヤは100万の軍隊と300の戦車でアサ王を攻めてきました。アサ王は軍隊の少なさ、何よりも、自分の弱さを素直に認め、神様により頼みました。それに対して、神様はアサ王に戦いに行く勇氣と勝利を与えてくださいました。

●質問2 自分の弱さを認めることは、簡単なようで難しいものです。しかし、アサ王のように、素直に自分の弱さを認めて神様により頼む時、弱さのうちにも完全に働いてくださる神様は、私たちにその問題乗り越える力と勇氣と知恵、さらには勝利と祝福を与えてくださいます。

10/15

●質問1 神様は南ユダ王国の王となったアサ王の子ヨシャパテと共にいてくださいました。大軍に攻められた時、民と心を合わせて神様に祈りました。そして、ヤハジエルを通してみ言葉が語られた時、神様の勝利を信じて従いました。神様は約束どおりに勝利を与えてくださり、ヨシャパテたちは賛美と感謝にあふれることができました。

●質問2 苦しく、つらい時、また、何か問題が起きた時に自分で解決しようと努力してしまいやすいものです。しかし、神様を信じる者の勝利の秘訣は、神様に祈ること、み言葉を信じて従うこと、神様を賛美することです。自分で戦うのではなく、全き勝利を与えてくださる神様にお任せし、真の勝利をいただきましょう。

10/22

●質問1 しばらく悪王が続いた南ユダ王国でしたが、神様に信頼して従うヒゼキヤが王となり、神様は彼と共にいてくださいました。アッスリヤ帝国が迫ってくる危機的状況においても、ヒゼキヤ王は自力や軍力に頼らず、まず神様に助けを求めました。また、神様のことを侮辱されたときも、唯一のまことの神様だけを信じて、祈り続け勝利しました。

●質問2 現代においても、教会に行っていること、イエス様を信じていることを馬鹿にされたり、イエス様や神様のことを侮辱されることがあります。しかし、その時に、信仰を捨てたり、仕返しをしたり、そういう人を見下したりするのではなく、ヒゼキヤ王のように、勝利を与えてくださる神様を信じて祈り続けましょう。

10/29

●質問1 ヨシヤ王は神様を愛し、神様に喜ばれることを行っていました。大祭司ヒルキヤによって、律法の書が発見されたときも、素直にそのみ言葉を受け止め、悔い改めの時をもちました。また、受けたみ言葉を自分だけのものとはせず、人々にも読み聞かせ、共にみ言葉に聴き従いました。

●質問2 私たちもみ言葉を通して罪が示されたとき、イエス様の十字架を仰ぎ、素直に認め、「ごめんなさい」と告白しましょう。神様はそのような者を喜んでくださり、み言葉に生きる者へと変えてくださいます。

11/5

●質問1 預言者エリヤは神様から聞いたみ言葉を、勇気をもって人々に伝えました。しかし、民は主なる神様とバアルの神の間で迷っていました（列王上18章21節）。主なる神様が本当の神様であること、また、エリヤが本当の神様に召された預言者であることを示すために、エリヤはバアルの預言者たちと、火をもって答える神をまことの神様とするという対決をしました。民はエリヤの信じている神様が生きておられる本当の神様だと体験し、信じることができました。

●質問2 教会に来ている子どもでも、それが偶像礼拝だと気づかないで占いなどをし、どっちつかずの信仰になっている子どもがいます。もう一度、自分が何を信じているのかを再確認しましょう。また、偶像を信じている友だちや家族のために祈ったり、エリヤのように勇気をもってイエス様のことを伝えることができるように、共に祈りましょう。

11/12

●質問1 預言者エリシャには多くの仲間がいました。彼は仲間やその家族を大切にし、悩みを聞いてあげ、神様の知恵を教えてあげました。女は神様を信じて、エリシャの言うとおりにしました。神様はエリシャを通して、女の必要を満たしてくださいました。

●質問2 奇跡に携わった人に心を奪われがちですが、油を満たしてくださったのは神様です。今も生きておられ、すべての必要を満たしてくださる神様を信じ、いつでもどこでも祈り求める者とならせていただきます。

11/19

●質問1 エゼキエルは主の霊に導かれ、枯れた骨がたくさんある谷に連れて行かれました。彼が主に言われた通りの預言をすると、枯れた骨たちは組み合わされ、新しい息が与えられて生き返りました。枯れた骨の生き返りは主の言葉によるものでした。

●質問2 偶像礼拝や不信仰、み言葉への不従順は「枯れた骨」のようなものです。悔い改めて、イエス様の十字架は私のためと信じ、新しい永遠のいのちに生きる者とならせていただきます。

11/26

●質問1 神様の種まきとは、神様のみ言葉を伝えることです。不信仰で罪深い私たちのためにも、イエス様は涙を流しながらみ言葉の種を蒔いてくださいました。そして、今もなお、私たちのためにとりなしてくださいています（ルカ22章32節）。

●質問2 主の涙を覚えてみ言葉を伝えていく時、私たちも主の喜び、救いの喜びに与えることができます。家族・親族・友人・知人の救いのために、主から愛と勇気をいただいて、み言葉を大胆に伝えることができるように祈りましょう。

12/3

●質問1 イエス様がまことの光です。それは永遠のいのちへの希望の光です。ヨハネはまことの光について証しをしました。

●質問2 まことの光なるイエス様は、私たちにもみ言葉の光を与えてくださり、主に喜ばれる正しく聖い道へと導いてくださいます。イエス様を信じる人はまことの光の中を歩むことができます。

12/10

●質問1 皇帝からの住民登録命令で、ヨセフとマリヤもナザレから故郷ベツレヘムへと帰って行きましたが、彼らには客間に泊まる余地がありませんでした。しかし、神様は家畜小屋でひとり子イエス様を誕生させてくださり、預言を成就してくださいました。

●質問2 神様が惜しむことなく、愛するひとり子イエス様をこの世に送り、私たちにプレゼントしてくださったのは、イエス様を信じる者が罪から救われて、永遠のいのちを持つためです（ヨハネ3章16節）。神様の愛を心から感謝して受け取り、イエス様を救い主と心から信じましょう。

12/17

●質問 1 当時、羊飼いは貧しく、人々からも嫌われていました。しかし、神様は彼らを顧みてくださり、イエス様の誕生を一番に教えてくださいました。羊飼いたちはすぐさま出かけて行き、飼葉おけに寝かされているイエス様を見つけ出して、礼拝をささげました。さらに、その恵みの事実を人々に伝え、神様を賛美しながら帰って行きました。

●質問 2 私たちも羊飼いのように、聞いたみ言葉を素直に信じ、喜んでイエス様を心にお迎えする、心のへりくだった者と主にあってならせさせていただきます。

12/24

●質問 1 救い主のお誕生を心待ちにしていた博士たちは、長い距離を苦しみとも思わず、喜びと希望に溢れて旅してきました。しかし、ヘロデは救い主の誕生を知ると気が狂うほどの不安に襲われ、幼子を殺しはじめました。

●質問 2 博士たちは、イエス様がすべての人の救い主としてお生まれになったことを心から感謝し、感謝と喜びをもって、イエス様に贈り物をささげました。イエス様は、異邦人である私たちの救い主となってくださったことを覚え、心からの感謝をささげましょう。

12/31

●質問 1 正しく信仰深い人シメオンは聖霊に満たされており、約束のみ言葉を信じて生きていました。聖霊の導きに従って宮に入ったとき、イエス様にお出会いすることができました。シメオンは神様の約束の成就に心から感謝し、神様をほめたたえました。また、神様に仕えていた女預言者アンナもそこにいて、イエス様に会うことができ、救いを待ち望んでいるすべての人々にその事実を伝えることができました。

●質問 2 今年をふりかえり、神様に感謝をささげましょう。また、励まされたり、慰められたりしたみ言葉、心に残っているみ言葉があったら分かち合いましょう。み言葉は必ず成就します。シメオンやアンナのように、私たちも約束のみ言葉を信じて生きていきましょう。